



発行日 平成26年2月3日



No.10

「堪忍 (かんにん)」

校長 溝江 透

てんびんの里文化学習センター内にある、近江商人博物館のホームページに、「21世紀に伝えたい近江商人の言葉」というコーナーがあります。そこで紹介されている言葉の一つに『堪忍 (かんにん)』というのがありました。近江商人の残した古い言葉ではありますが、今の時代も大切にしていきたい言葉の一つだと思いますので紹介します（一部省略、手直ししています）。



松居遊見書

「苦しいことをがまんして耐え忍ぶ」

「怒りをこらえて他人の過ちを許す」

天保8年（1837年）6月、近江国神崎郡位田村（現在の東近江市五個荘竜田町）の商人・小杉五郎右衛門は、商売の中心だった加賀藩で、徳政令（貸借を破棄される法令）が出されたため、売掛金が全部損失し大損害を受けました。落胆のあまり、一日中寝室で臥せっていた五郎右衛門に、隣に住む近江商人の先輩・松居遊見が訪ねてきて、「この困難なときこそチャンスだ」と激励し、加賀国（石川県）へ再び商いに行くようにすすめました。

松居遊見の言葉を聞いて冷静になった五郎右衛門は、「徳政令によって商人たちが来なくなり、人々は困っているはずだ。」と考え、すぐに商品を大量に仕入れ、加賀国へと向かいました。商売は大繁盛し、損失を凌ぐ利益を得たばかりか、加賀の商家からも信頼されるようになりました。

「苦境の時こそチャンス」と教えてくれた松居遊見に、小杉家は後々まで感謝しました。そして、豪商となった後も、小杉家では『勘忍』を家訓とし、遊見の書を家宝としたそうです。

実は私は、生まれてから高校生になるまでの15年間、この話に出てくる松居遊見（松居久左衛門）邸の一部を借りて住んでいました。お隣は小杉五郎右衛門邸でした。その時はこの話は知りませんでしたが、今回、改めて松居遊見の教えに接し、私自身も「堪忍」の意味をかみしめ大切にしていかなければと感じました。

ところで、最近、子育ての中で、こういったことをあまり言わなくなってきたのではないのでしょうか。子どもにも分かりやすい言葉に直して、「何事もあきらめずがまん強くがんばる」こと、「他人を責めず心を開く持つ」ことを、是非、お家でもお子さんに話してやってください。

なお、小杉五郎右衛門邸の土蔵は、現在「楽ごろうえもん」というお店に使われ、今も残っています。

インフルエンザに
かからないように

現在滋賀県下にインフルエンザの警報が発令されています。市内の保育園、幼稚園や小・中学校でもインフルエンザに罹患する子どもの数が増えてきています。本校でも昨日まで5年生で学級閉鎖となっていました。

- ・人ごみを避け、外から帰ったら、手洗い・うがいを励行しましょう。
- ・咳が出るときは、マスクを着用し、咳エチケットを守りましょう。
- ・適度な温度・湿度を保ち、栄養と休養を十分にとりましょう。
- ・重症化を防ぐために、ワクチンを接種しましょう。

～かかったと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう～

＝滋賀県ホームページより＝

うつらない、うつさないために、手洗い・うがいの励行とともに、学校でもマスクをつけるようにお願いします。

2月 今月の予定

日 曜	行 事 等	日 曜	行 事 等
1 土		15 土	
2 日		16 日	
3 月	委員会活動	17 月	クラブ活動
4 火		18 火	校内版画展（～2／28）
5 水	お楽しみ読み聞かせ	19 水	お楽しみ読み聞かせ
6 木	1日入学・入学説明会	20 木	学習参観日（②低学年③中学年④高学年）
7 金	Welcome能中（6年）	21 金	
8 土		22 土	
9 日		23 日	
10 月	クラブ活動	24 月	
11 火	建国記念の日	25 火	学級諸費集金日 教育相談の日
12 水	お楽しみ読み聞かせ	26 水	給食口座振替日
13 木		27 木	教育相談の日
14 金		28 金	縦割り遊び

Photo News フォトニュース



百人一首大会 5年生



「うがい」をがんばっています



校内書き初め展



総合学習発表会 6年生

能登川南小学校ホームページにも、子どもたちの活動の様子を掲載しています。是非ご覧ください。
ホームページアドレス：<http://www2.higashiomi.ed.jp/notminamisho/>